

病害虫 防除だより

No. 367

令和5年4月27日

ネキリムシ類（カブラヤガ）の発生早い！

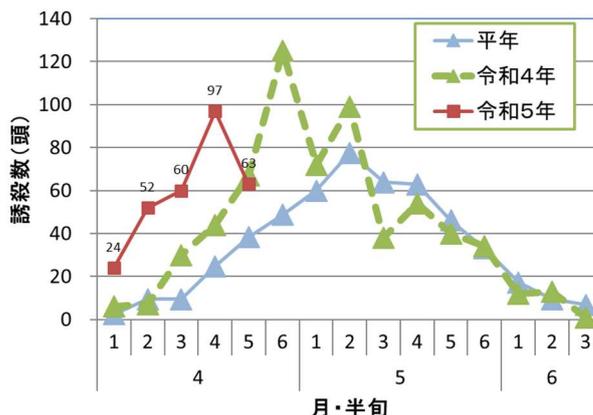
ネキリムシ類（カブラヤガ）は野菜等の苗の茎や、発芽した新芽を食害する害虫です。

農業試験場のフェロモントラップでのカブラヤガの誘殺数が4月1半旬から急激に増加しています。野菜等の播種・定植を予定している場合は、防除を徹底して下さい。

1. 本年の発生状況

本年の誘殺時期は例年より早く、4月5半旬までのカブラヤガのフェロモントラップ誘殺数は平年の3倍以上と非常に多い。

今後、4月～5月にかけて第一世代の幼虫が多発生するものと考えられ、例年より早く、播種・定植直後の作物に対して被害が多くなると思われるので、注意が必要である。



2. 主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
ネギ	ネキリエースK	土壌表面株元処理 3kg/10a	収穫 30 日前まで	2 回以内
	カルホス粉剤	土壌表面散布土壌混和处理 6kg/10a	は種時又は植付時	
キャベツ	ネキリエースK	土壌表面株元散布処理 3kg/10a	は種時又は定植時	1 回
	カルホス粉剤	土壌表面散布土壌混和处理 6kg/10a	は種時又は植付時	
	ダイアジノン粒剤3	土壌混和 6～9kg/10a	収穫 30 日前まで	2 回以内
	デナボン5%ベイト	株元散布 3～6kg/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内
ブロッコリー	ダイアジノン粒剤3	土壌混和 6～9kg/10a	収穫 30 日前まで	2 回以内
とうもろこし	ガードベイトA	株元散布 3kg/10a	生育初期	4 回以内
ダイズ	クルーザーMAXX	塗抹処理 8ml/乾燥種子 1kg	は種前	1 回
	クルーザーFS30	塗抹処理 6ml/乾燥種子 1kg		

- 休耕地または雑草地を耕起して植付ける場合や毎年被害を受けるほ場では発生が多くなるので、播種・定植(植付)時に土壌に殺虫剤を処理する。
- 農薬の使用にあたってはラベルをよく確認し、使用方法・回数を遵守する。

令和5年度農作物病害虫防除指針 <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>

◇◇◇ 最新の農業登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室 連絡先 0776(54)5100

福井県病害虫防除室 🔍 検索

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>
QRコードをスキャンしてください →



農薬の飛散に注意し、安全に使用しましょう

病害虫の適期防除に努めましょう